

「聴こえ」「耳鳴り」を改善し あなたの健康寿命を応援

こんなことはありませんか？

テレビの騒音で

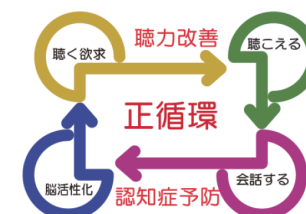
テレビの音が大き過ぎて
ケンカになることも・・・

重要な会議で

聞こえない不安・・・
聞こえたふりをすることも

認知症予防のサイクル

聴こえを戻して
脳の活性化を



株式会社 エース・E&L

☎ 042-740-8111 ☎ 042-719-3912

📍 神奈川県相模原市南区麻溝台6-9-9

<https://ace-el.co.jp/>

Profile

代表 津田博通 さん

電子機器の開発設計を手がける『株式会社エースエンジニアリング』の子会社として、集音器を作るために設立された『株式会社エース・E&L』の代表取締役役に就任。『Choju』の開発に携わる。



集音器の新カテゴリー 高性能集音器『Choju(聴寿)』

日常の会話やテレビの「聴こえ」に悩む方々に徐々に広がり、人気が高まっているのが『株式会社エース・E&L』の「聴寿」だ。「聴寿」は、難聴の方向けの高音質な「集音器」で、一般的な聴覚補聴器の問題点を解析して生まれた。

代表の津田博通さんが「聴寿」を開発したきっかけは、岩手の漁村に住む従兄が難聴に悩んでいたことだったという。家族と会話もできず、テレビも画面しか楽しめない。補聴器は毎月病院などで音量調整が必要だが、高齢者には山道を車で通うことが困難だ。そこで、年金暮らしの人が購入できる価格で、自分自身で音量・音質を調節できる集音器「聴寿」の開発を思い立ったという。自然で楽しい生活を取り戻すには、まず他人と会話ができる環境が大切だと津田さんは語る。他人と交流ができれば、認知症の防止にも役立つ。

『聴寿』は、補聴器と異なり、医療機器には当たらない。そのため、自分で体調や周辺環境に合わせて音質や音量を自由に調整できる。耳の穴の中に入れる耳穴式や耳掛け式の補聴器は、音を集めるマイクと音を出すイヤホンとが近いためハウ

リングを起こしやすいが、「聴寿」ではマイクとイヤホンを離すことでハウリングが無く聴きやすい自然な音質を実現している。また、左右の聴こえを調整する機能により、難聴側の聴神経を敏感にしようとする脳の働きが緩和され、耳鳴りが軽減し楽になったという声も多い。現在の補聴器で一般的なデジタル回路は使わずにアナログ回路とすることで、高音から低音まで広い範囲の音を増幅、音楽も楽しめる。病院から「もう補聴器は無理です」といわれた高度難聴の方でも「聴こえ」が改善できることも特徴だ。また、補聴器では2〜5年毎の買い替えや作り替えを要するのに対し、一生利用が可能。こうしたメリットを実現しながら、日本製で5万円という低価格を実現している。

また、家庭のテレビに専用の音声送信機を接続することで、テレビ音声を直接集音器に送り込む「聴寿・Ⅱ」も商品化。クリアな音声でテレビを楽しむことができる。

「まずは体験を」と購入前の無料お試し貸出も実施中。気になる方は試聴してみては。

(ライター／ナガノリヨウ)

『Choju Ⅱ』テレビモデル
65,000円(税別)

『Choju』標準モデル
50,000円(税別)



上海、大連の展示会で大好評。